

エポック10の事業とご紹介

エポック10では、男女共同参画社会の実現のため、さまざまな事業を行っています。

男女共同参画に関する講座や講演会、シンポジウムなどの開催、ワーク・ライフ・バランスの推進、そして女性を取り巻く諸問題に関する相談など多岐にわたる事業を行っています。今回は、エポック10の事業の一部をご紹介します。



エポック10の書籍紹介

エポック10では、男女共同参画に関する書籍の貸し出しを行っています。女性学・男性学、ワーク・ライフ・バランス、性暴力、女性のエンパワメントなど、さまざまなテーマの書籍を数多く取り揃えています。今回は、本号のテーマである「私らしく」にちなんで、LGBT(L:レズビアン/G:ゲイ/B:バイセクシュアル/T:トランスジェンダー)がテーマの書籍をご紹介します。

ぜひ日頃の学習や研究にお役立てください。

▶レインボーフラッグは、LGBTに対する理解と支援のシンボルです。



カラフルなぼくら

6人のティーンが語る、
LGBTの心と体の遍歴
スーザン・クーグリン (著)
浅尾敦則 (訳)

ポプラ社

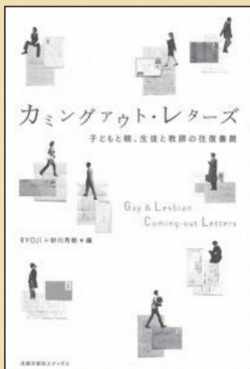
多様な性自認・性的指向の若者たちが、どのように自らの性と向き合い、自分らしい生き方へ踏み出していったかを追った翻訳ノンフィクション。

カミングアウト・レターズ

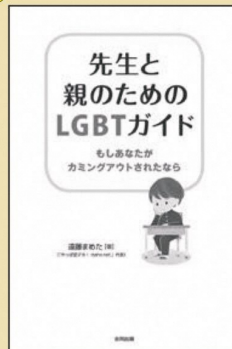
子どもと親、生徒と教師の往復書簡

砂川秀樹 (著、編) RYOJI (編)

太郎次郎社エディタス



ゲイ、レズビアンである子どもとその親、生徒と教師のカミングアウトをめぐる往復書簡。家族への、身近な人への告白。初めてうちあける子どもの思い。母親の驚き、葛藤、そして受容。生徒と教師の真摯な対話。18歳から82歳まで、7組19通の手紙と2つのストーリーが描かれています。ゲイ、レズビアンの子をもつ親たちの座談も収録。



先生と親のためのLGBTガイド

もしあなたが
カミングアウトされたなら

遠藤まめた (著)

合同出版

「LGBT」ってホントにクラスに1人いるの？

どの子がLGBTか見た目でわかるの？

自分の態度が子どもを遠ざけているの？

LGBTの子がいるけど、どうしたらいいの？

LGBTの子にどんなアドバイスを送ればいいのか？

一人ひとり性は違っていい。

子どもの安心のために、

親・先生が知っておきたいこと、

実践したいことをまとめた一冊。

僕たちのカラフルな毎日 弁護士夫婦の波瀾万丈奮闘記

南和行、吉田昌史 (著)

産業編集センター



大阪で法律事務所を営む「弁護士夫婦」(同性カップルの弁護士)の出会いから今日までの波瀾万丈な日々が綴られたエッセイ。社会の差別や偏見に、時に怒り、時に涙しながら、それでも胸を張って歩き続けるふたりの姿を通して、多様な性的指向に対する理解を深めることができる一冊です。

エポック10の相談ってどういうことをしているの？ ～エンパワメントの視点から～

エポック10一般相談では、様々な悩みを抱えた女性の方からのご相談を受けています。例えば、家庭のこと、仕事のこと、自身の生き方について等、内容は様々ですが、相談を受ける中で問題を抱えている人に共通することがあるように感じられます。それは、問題によって、不安や混乱からどうしていいのか分からなくなり、そこから無力感を持つことによって、その方が本来持っている力が一時的に失われてしまっていることです。

例えば、日々パートナーから自分を否定されるようなことを言われていたとします。言われた通りにやっても、違うと指摘されたり、また自分なりに問題を改善しようと考えて直した点も否定されたりします。このようなことが繰り返されると、「自分は何をやっても変わらない」、「自分はダメな人間だ」と思うようになり、どう行動したらよいか分からなくなり、不安になったり、混乱し、自分の行動に自信がなくなってきます。

このような悩みを抱えている方に関わる際に、私たちが大切にしている考え方があります。それは「エン

パワメント」です。エンパワメントとは、相談者が問題によって奪われた力、例えば自尊心（ありのままの自分を受け入れる感覚）や自己効力感（自分の行動で状況を変えていける感覚）を取り戻し、主体的に問題解決に取り組めるようにお手伝いすることです。

相談者自身が自分の経験と知識によって決断できるように、相談員は相談者のペースを大事にし、相談者の理解に努めながら一緒に問題について考え、必要な支援や情報を提供します。

何かお力になれることがあるかもしれません。一度、ご相談してみませんか。



豊島区は女性の活躍を推進しています！ ～政策・方針決定過程への女性の参画～

国は「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度」との目標を設定し、取組を進めてきました。しかし、現状では国際的にみても低い水準にとどまっており、官民をあげた取組が一層求められています。

豊島区では、平成29年4月からの5年間を計画期間とする「豊島区女性活躍推進計画」の中の重点課題の1つに、「政策・方針決定過程における男女共同参画の推進」を位置づけました。そして、右記の指標を定め推進を行っています。特に、指標2については、女性委員の比率40%を目指して全庁をあげて取組み、目標達成に向けた計画を策定予定です。

評価指標名	現状値 (平成29年度)	目標値 (平成33年度)
指標1 管理職に占める 女性管理職の割合	21.9%	30.0%
指標2 区の附属機関・ 審議会等の 女性の参加率	28.6%	40.0%

区の施策の対象の半分は女性であり、政治、経済、社会など、さまざまな分野における女性の政策決定過程への参画は、男女が共に暮らしやすい社会の実現につながるものです。

男女平等推進センターは、より多くの女性の政策決定過程への参画の実現に向けて、さまざまな角度から推進を行っていきます。